

2018年2月16日
イオン株式会社
AEON CO. (M) BHD.

グループ共通戦略「デジタル化」の推進を加速
店舗のオムニチャネル化に向けた業務提携

～1月24日より買物代行サービス展開開始～

AEON Co.(M) BHD.（以下、イオンマレーシア）は、1月24日（水）デジタル化戦略の一環として、マレーシア首都圏で買物代行サービスを運営する Honestbee Sdn. Bhd.（以下、オネストビーマレーシア）とオムニチャネル化に向けた業務提携に関する覚書を締結しました。

イオンマレーシアは、イオングループ中期経営計画（2017年～2019年）のグループ共通戦略のひとつ「デジタルシフト」を推進すべく、数年来実験を重ねてきたデジタル化を本年より本格的に推進し、昨今ますます需要が高まるオンライン市場への対応を図ります。販売チャネルのみならず、流通の各段階におけるデジタル化を進めることで、当社が有する店舗網やトップバリュをはじめとしたプライベート商品などの強みとの相乗効果により、お客さまのさらなる利便性向上を目指します。

提携第一弾のサービスとして、ネットスーパーに相当する機能となるオネストビーマレーシアの買物代行サービスを、1月24日よりイオンミッドバレー店、2月2日よりイオンタマンマリ店にて導入しました。各店を中心とした半径17kmにお住まいのお客さまに、食品をはじめとした約5,000品目を、ご注文より最短で1時間以内に指定先まで配送します。今後、対象品目や対応店舗を順次増やし、人口が密集する首都圏クランバレーや南部ジョホールバルにおいてサービス拡大を図ります。



イオンは、お客さまへの新たなサービスの創出に取り組み、より一層豊かな生活づくりに貢献してまいります。